



## 即応予備自衛官雇用主等部隊研修

東京地本予備自衛官課は、平成29年10月25日及び26日の2日間、即応予備自衛官雇用主等（7社7名）を招聘し、広島県呉市及び江田島市において部隊研修を実施した。本研修は、雇用主等に自衛隊の任務等に対する理解を深めていただき、即応予備自衛官の出頭環境を整える資としていただくことを目的としたものである。

見学初日は、呉市の海上自衛隊呉史料館（てつのくじら館）及び海軍歴史科学館（大和ミュージアム）の研修を行った。てつのくじら館では、潜水艦内の隊員の勤務環境及び海上自衛隊の国際貢献活動等について理解を図った。また、大和ミュージアムの研修では、呉市の歴史及び当時の造船技術が現在に活かされていることを知り、多くの方が驚きを感じている様子であった。その後、部外施設における意見交換会では、それぞれの企業の実情を共有するとともに、即応予備自衛官経験者の研修参加者に、即応予備自衛官を続けるための努力及び招集訓練後に会社勤務する際の接し方等の紹介をして頂き、今後の訓練出頭の参考にしたいという声があがっていた。

翌日は、海上自衛隊第1術科学校を研修し、旧海軍兵学校の歴史、教育参考館内で海軍の歴史及び大東亜戦争時の特攻隊員の遺書等を見ることにより、当時の隊員の任務完遂に対する気持ち及び愛国心について研修した。

東京地本予備自衛官課は、今後も上司・同僚が参加できる部隊研修や訓練見学等を通じ、防衛省・自衛隊及び即応予備自衛官制度への理解の促進を図っていくとしている。



即応予備自衛官雇用主等部隊研修

## 楠見本部長が東京大学において講義を実施 ～東大生に対し熱弁を奮う～

東京地本本部長 楠見晋一陸将補は、平成29年11月29日、東京大学工学部大講堂において工学部3年生等130名を超える学生に対して「産業総論」の講義を実施した。本講義は、平成16年以降、東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻中尾教授の依頼に基づき、例年実施しているものである。

当日は、講義に先立ち、本部長の自己紹介、幹部自衛官のキャリアパス及び東大出身幹部自衛官の活躍状況について説明後、「軍事と科学技術」と題し、「科学技術と軍事革命」、「現代における民生技術と軍事技術」、「軍事技術の趨勢と将来の動向」等について講義した。また、大学側からの要望を受け、「北朝鮮情勢とわが国の弾道ミサイル防衛の概要」について最近の北朝鮮の動向を踏まえながら講義した。

特に、当日の早朝、北朝鮮が弾道ミサイルの発射実験を行ったこともあり、「北朝鮮情勢とわが国の弾道ミサイル防衛の概要」では学生も興味深く講義を受講している様子だった。

受講した学生からは、「軍事科学技術についての質問もなされたが、「幹部自衛官のキャリアパスはどうなっているのか。」や、「防衛省内で、装備開発に進む道はあるのか。」等、防衛省の技術分野のみならず、防衛省という組織に対しての質問が出るなど、国防を担っている防衛省への関心の高さが見て取れた。

また、中尾教授からは「すばらしい講義をありがとうございました。また来年もよろしく願っています。」と感謝の言葉を頂いた。

東京地本は引き続き、大学での講義等の機会を通じて、自衛隊の事を知らない多くの学生に対し、防衛に関する理解の拡大に努めていくとしている。



東大生に対し熱弁を奮う